

履修のてびき

東京農業大学

2024

厚木 2～4 年次生用

農学部

目 次

大学において学修するための基礎知識	1
年間授業計画	4
1 学生ポータルとは	5
2 履修登録日程	10
3 履修登録にあたっての注意事項	10
4 履修登録上、特に注意を要する授業科目	12
5 英語による専門教育プログラムの履修登録	17
6 「特別講義」履修登録について	20
7 全学共通科目「日本語」の履修登録	23
8 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録	23
9 必修科目自動登録単位数一覧表	23
10 履修登録の入力方法	24
11 履修確認について	29
12 履修確定について	30
13 授業について	30
14 試験について	31
15 成績質問について	32
16 成績評価とGPAについて	32
17 時間割を参照するうえでの留意事項	33
18 WebClassの利用について	34
19 遠隔授業の受講方法	36
20 教材フォルダの使い方	37
21 Forms の使い方	38
22 教室 実験・実習・演習室短縮名称	39
23 厚木キャンパス教室配置図 講義棟	40
24 厚木キャンパス教室配置図 第2講義棟・実験実習棟	41
25 科目ナンバリングについて	42
26 履修モデル	42
前学期時間割記入表	47
後学期時間割記入表	48
厚木キャンパス校舎等配置図	49

⇒ 大学において学修するための基礎知識Ⅰ～Ⅶ

Ⅰ. 「履修する」ということ —所属する学科の課程を学修し修めること—

各学科の課程には、必修科目(所属する学科で必ず履修しなければならない科目)とそれ以外の科目「選択科目」があります。このうち「選択科目」については、皆さんの学修目的に沿って、自分自身で科目を選びます。所属学科の中心的な科目である必修科目を学修するとともに、その周辺科目である選択科目を自分で選ぶことで、自分なりの学修体系をつくりあげていくことになります。なお、履修するためには、大学が定める期間内に「履修登録」する必要がありますので、必ず覚えておいてください。

皆さんは、近い将来、就職活動など自分の進路を決定しなければならない時期がやってきます。自分の可能性を大きく広げるために、基礎となる大学での学修に主体的に取り組んでください。

Ⅱ. 本学の学期はセメスター制

セメスター制とは、1年間を前学期(15回)と後学期(15回)の2学期に分け、学期ごとに、担当科目が定められ、授業・試験・成績評価を行う学期制度です。各科目は、半年間で完結します(※一部科目を除く)。

卒業までには、2学期×4年＝8学期あります。卒業までの4年間の履修計画を立て、そして年度ごとに修正しながら、各学期の担当科目を学修していくことが大事です。

Ⅲ. 大学の授業科目は単位制 —学修時間と単位の関係—

各科目の単位数は、文部科学省が定める大学設置基準に基づき、教室における学修時間数と教室以外(授業以外)での学修時間数(予習・復習の時間)の合計で決まります。

2単位を修得するためには、以下の時間数が必要とされます。

授業科目 1コマ＝ 2時間／週(本学では90分) × 15回

修得のための予習復習時間＝ 4時間／週 × 15回

例えば、前学期で22単位(11科目)履修登録した場合、1週間で授業以外に「4時間×11＝44時間」の予習・復習が必要となり、月～土の6日間で考えると、1日平均約7時間の予習・復習が必要となります。したがって、無制限に履修登録すると消化不良を起こしてしまいます。そこで本学では、**年間で履修登録できる単位数と学期ごとに履修登録できる単位数にそれぞれ上限を設けています**(※詳細は10ページ「3 履修登録にあたっての注意事項」を参照のこと)。

Ⅳ. カリキュラム(学修体系)の特長 —いろいろあるのが本学の特長—

皆さんは、将来の目標があって、それぞれの学科を選び、難関を突破して入学してきました。大学では、それに応えるべく、皆さんが満足できる、そして皆さんを自信を持って社会に送り出せるようなカリキュラムを作っています。カリキュラムには、本学の伝統に培われた教育理念と、学風が盛り込まれていることを、皆さんはしっかりと感じ取ることができるでしょう。以下に、科目の種類と学修体系の特長を記します。

1. 科目の種類

【必修科目】

各学科に担当された、学科のめざす専門分野の科目です。

必修科目は、必ず履修して、合格の成績評価を受けないと卒業できません。

1つでも不合格だと卒業できません。

【選択必修科目】

各学科に担当された、学科のめざす専門分野の科目で、限定された科目群の中から、指定された単位数を修得しなければならない科目です。

【選択科目】

各学科に担当された、より高い専門性を修得するための科目です。

皆さんの意思で自由に選択できます。

2. 学修体系の特長

【総合教育科目・外国語科目・専門教育科目】

本学のカリキュラムは、総合教育科目・外国語科目・専門教育科目の3つに大別されます。
※詳細は、「学生生活ハンドブック」の履修編「授業科目の概要」を参照してください。

【英語による専門教育プログラム】

全学部全学科の学生を対象としたプログラムです。
本学の専門的な教育科目を、すべて英語による授業で開講するものです。
グローバル化時代に対応した大学教育の必要性から実施するものです。
自分の英語の実力アップを計りながら、『Basic』レベルの科目から『Advanced』科目へ挑戦してください。

【教職課程・学術情報課程】

教員免許取得や学芸員、司書の資格を取得したい学生のために開講しています。
これらの資格を取得したい学生は、自分で申請して履修手続きをしなければなりません。

V. 履修登録する ー選択科目を選ぶ、そこに自分の可能性が詰まっているー

必修科目以外の選択科目をいかに選ぶか。皆さんが、より良い学修体系を創造していくためのアドバイスです。

1. 自分の学修体系を決める

卒業までの4年間を総合的に把握し、卒業後の将来を見据えた計画を立ててください。
→ 在学生は、学生ポータル「あなたの履修」をもとに、自分の学修体系を再確認してください。
前年度までの学習計画を再検討するのに良い機会でもあり、さらに方向修正もできます。

2. 科目名をチェック ⇒ 科目名で大体の内容をイメージ

- ◇ 自分の学科配当の選択科目
- ◇ 自分の学部の共通配当科目
- ◇ 他の学科、学部の科目

3. シラバス(講義要項)で科目の講義内容を確認

科目名だけでは、実際の細かな講義内容はわかりません。シラバスには、全科目の授業概要と到達目標、授業の進行、評価の方法など詳細が記載されていますので、活用してください。

4. 履修登録 ⇒ 履修登録期間を確認

前学期の授業開始時に、後学期の開講科目を含めて、1年間分の科目を履修登録します。
後学期の科目については、後学期に履修登録期間・履修修正期間を設けています。
後学期の履修登録期間・履修修正期間では、後学期科目の追加・削除・変更が可能です。
夏季集中科目と冬季集中科目も、履修登録期間・履修修正期間のみ履修登録が可能です。
履修登録にあたっての注意事項を、10ページ以降に記載していますのでよく読んでください。

**【重要】履修登録は、定められた期間でしか行うことができません。
忘れずに、また、間違いのないよう慎重に登録してください。**

VI. 学生の皆さんへの注意事項 ー自分のことは自分で、責任を持ってー

1. 配付した書類は熟読してください。
2. 学生ポータルを確認する習慣をつけてください。
3. 提出期限は厳守してください。(期限後は受け付けません)
4. 学生教務課窓口の業務時間 (時間外は受け付けません) 【平日(授業期間)】 8:30~17:00

VII. 学部・学科等の名称の短縮表示・表示順番について

本学では、学科等の名称を略して表示することがあります。また、掲示などの順番も原則として次のように行います。

学 部 名 等	略称名
農学部	農学部
農学科	農学
動物科学科	動物
生物資源開発学科	資源
デザイン農学科	デザイン
応用生物科学部	応生学部
農芸化学科	化学
醸造科学科	醸造
食品安全健康学科	健康
栄養科学科	栄養
生命科学部	生命学部
バイオサイエンス学科	バイオ
分子生命化学科	生化
分子微生物学科	微生物
地域環境科学部	地域学部
森林総合科学科	森林
生産環境工学科	工学
造園科学科	造園
地域創成科学科	創成
国際食料情報学部	国際学部
国際農業開発学科	開発
食料環境経済学科	経済
アグリビジネス学科	ビジネス
国際食農科学科	食農
英語による専門教育プログラム	英語専門
全学共通科目	全学共通
教職課程	教職
学術情報課程	学情

2024年度 年間授業計画

(農学部)

月	日 (曜日)	行事予定
4	3日 (火) 4日 (木) ~ 9日 (火) 10日 (水) 29日 (月)	入学式 新入生ガイダンス・健康診断 在学生ガイダンス・健康診断 新入生オリエンテーション 等 前学期授業開始 (7/12 まで) 【授業日】昭和の日
5	1日 (水) ~ 2日 (木) 6日 (月) 18日 (土)	【休講日】 【授業日】 こどもの日振替休日 大学の記念日
6	1日 (土)	教育後援会教育懇談会
7	12日 (金) 15日 (月) ~19日 (金) 22日 (月) 26日 (金) ~8/1 (木)	前学期授業終了 前学期定期試験 (7/15 海の日は定期試験を実施) 追試験
8	3日 (土)・4日 (日)	オープンキャンパス 夏季休業 夏季集中授業、各種教育プログラム
9	上旬 21日 (土) 25日 (水) 26日 (木) 28日 (土)	前学期定期試験の評価開示 教育後援会地域懇談会 後学期授業開始 (1/16 まで) 東京農大ホームカミングデー (世田谷キャンパス)
10	14日 (月) 19日 (土) 31日 (木)	【授業日】スポーツの日 総合型選抜入試 収穫祭に伴う休講期間 準備 10/31、前夜祭 11/1、収穫祭 11/2・3、体育祭 11/4、後片付け 11/5
11	5日 (火) 16日 (土) 17日 (日) 30日 (土)	学校推薦型選抜入試 指定校、社会人選抜入試 外国人・帰国子女、運動選手、転入学・編入学・学士編入学入試
12	14日 (土) 24日 (火)	私の夢総合型選抜入試 冬季休業
1	3日 (金) 6日 (月) 15日 (水)・16日 (木) 16日 (木) 17日 (金) 18日 (土)・19日 (日) 20日 (月) ~24日 (金) 31日 (金)	後学期授業再開 【補講日】 後学期授業終了 大学入学共通テスト準備日 卒業論文題目届の提出期限 (3年次生) 大学入学共通テスト 後学期定期試験 卒業論文の提出期限 (卒業年次生)
2	3日 (月) ~5日 (水) 6日 (木) ~12日 (水) 下旬	一般選抜入試A日程 追試験 後学期定期試験の評価開示
3	3日 (月) 6日 (木) 7日 (金) 21日 (金)	一般選抜入試B日程 【休業日】学校法人の創立記念日 卒業確定者及び進級確定者の発表 学位記授与式

注: 上記スケジュールは予定であり、変更することがあります。変更が生じた場合は、随時、学生ポータルにて周知します。

1 学生ポータルとは

学生ポータルとは、学生生活を送るうえで必要な情報を Web 上で確認できるシステムです。個人の呼び出しや授業の情報などがパソコン・スマートフォン等から確認できます。また、履修登録や成績の確認、オフィスアワー・シラバスの検索など授業の受講に必要な手続きにも利用します。
※ここでは、パソコン用画面に沿った説明を記載しています。

(1) ログインの方法



東京農業大学ホームページ

<http://www.nodai.ac.jp/>

①「**在校生の方**」をクリックしてください。

②「**学生ポータル**」をクリックし、使用するデバイスを選んでアクセスしてください。
・「学生ポータルパソコン用」
・「学生ポータルスマートフォン用」

東京農業大学



③「利用者 ID」に学籍番号を入力し、「パスワード」を入力し、[ログイン]をクリックしてください。

(2) 各メニューの使い方

The screenshot shows the Tokyo Nodai Information Portal interface. A red box highlights the navigation menu (A) and the weekly schedule page (B). A third red box (C) highlights a detailed view of the schedule and notices.

A HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート

B 週間スケジュール (2021/01/25~2021/01/31)

1/25(月)	1/26(火)	1/27(水)	1/28(木)	1/29(金)	1/30(土)	1/31(日)
補講日	後学期定期試験	後学期定期試験	後学期定期試験	後学期定期試験	後学期定期試験	後学期定期試験

C 本日のスケジュール: 本日の時間割はありません。 (補講日) 本日が期日のToDoはありません。

各キャンパスからのお知らせ: 68件の未読

- 1/25(月) New [普通]【国際学部 菅沼】農林水産省主催 INW
- 1/22(金) 【日本学生支援機構】2月の奨学金窓口の閉室
- 1/22(金) [重要] 退学申請の申請について
- 1/22(金) 【2021年度給付型奨学金のお知らせ】(公財)安
- 1/22(金) 【2021年度給付型奨学金のお知らせ】(公財)工

全学共通のお知らせ: 8件の未読

- 1/22(金) [普通]【随書報告(随書)】農大Webメール送先
- 1/22(金) [重要]【再送】2020年度後学期「学生による授業
- 1/20(水) [重要] 2021年度の授業実施方針について(第1新
- 1/20(水) [重要] 学内でアルバイトおよびTAとして働いた学
- 1/12(火) [重要] 後学期の再開にあたって～安全なキャン

あなた宛のお知らせ: 8件の未読

- 1/22(金) [重要]【重要】選択必修英語 履修意向調査/A
- 1/22(金) [重要]【重要】クラス分け試験について/About th
- 1/20(水) [重要] 熱帯作物学総論講義について
- 1/19(火) [重要] 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うM
- 1/15(金) [重要]【リマインダー】科目「地域再生・活性化」配

個人向け情報: お知らせ一覧, メール, MyDisk/世田谷・厚木, MyDisk/オホーツク, 住所等の登録, 住所等の変更/確認, メッセージ送付設定, パスワードの変更, 照会, スケジュール管理, 健康診断結果確認, 学生生活ハンドブック, 履修のてびき, 「履修のてびき」修正表, 就職情報サービス, 農大キャリア力(求人検索NAV), 図書館情報サービス, 図書館/世田谷, 図書館/厚木, 図書館/オホーツク

A タブ(各機能をまとめたもの)

My 時間割

各自の授業時間割を確認できます。

教室変更や休講情報、課題の連絡等の重要な情報を確認できます。

教務掲示

○時間割表

授業時間割表(開講学期・曜日・時限・担当者等)、授業日・集中講義一覧等を確認することができます。

The screenshot shows the Tokyo Nodai Information Portal interface. A red box highlights the 'My 時間割' menu and the '時間割表' sub-menu.

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー

週間スケジュール (2021/08/03~2021/08/07)

時間割表

教務掲示一覧

○教務掲示一覧

教員および学生教務課等から、授業に関するお知らせを掲示しています。

講義の受講方法、レポート課題についての連絡など、授業を受ける上で必要な情報を確認できます。学生ポータルにログインした際は、必ず確認してください。

東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal

HOME | My時間割 | 教務掲示 | 学生生活情報 | シラバス | オフィスアワー | 出席管理 | 授業評価アンケート

教務掲示一覧

現在掲示中の教務情報以下の通りです。
掲示内容を絞り込む場合は、下の検索条件から絞り込んでください。

1-10件表示/3045件中 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 ... 次の10件>> 10 件表示

種別	開講科目名	曜日時限	担当教員	詳細	▼ 掲示日
講義連絡	解剖生理学	月2限 (10:40-12:10)	福山 直人	タイトル: 期末(定期)試験に関して 添付ファイル: 無	2021/02/01 13:55
レポート課題	バイオビジネス経営実務論	金3限 (13:00-14:30)	半林 真一 寺村 梨香 渋谷 往男	提出締切: 2/5 (金) 15:00 添付ファイル: 無	2021/02/01 13:28
講義連絡	解剖生理学	月2限 (10:40-12:10)	福山 直人	タイトル: 解剖生理学 期末(定期)試験に関して 添付ファイル: 無	2021/02/01 12:43
	英会話(一)のび	月4限	ピーター ベ	タイトル: TEST ROOM LINK	

「教務掲示」から「教務掲示一覧」をクリックすると履修している科目に関するお知らせが表示されます。

【メッセージ種別】

休講情報……………休講する科目と日程について

補講情報……………休講した授業の補講日程等について

時間割変更情報…教室の変更や時限・曜日変更等について

授業日程変更…授業の時限や教室変更等について

講義連絡……………授業に関するお知らせや課題・試験等について ※1

レポート課題…レポート課題の詳細と提出について ※2

提出した後に同画面を確認し、「提出済み」「受理」等を確認してください。

【教務掲示の検索方法】

ページ下部の検索条件から必要な情報を検索できます。

詳細検索条件の「▼検索条件を開く」をクリックすると、過去の掲示内容や教員名・開講番号で検索できます。

※1 講義連絡



「開講科目名」をクリックすると授業に関する連絡が確認できます。

試験や授業の受講についての案内もあります。授業の前に必ず確認してください。

※2 レポート課題



[レポートを提出する] をクリックすると詳細と下記の画面が確認できます。

※学生ポータル「あなたの履修」で確認できる科目のみレポート課題を提出することができます。

レポートの内容を確認し、指定の書式で課題を作成してください。

提出状況

提出状況	未提出
提出ファイル*	ファイルを選択 選択されていません
提出コメント	<input type="text" value=""/>
教員コメント	-
提出日時	-

前の画面へ戻る ▶▶ レポートを提出する

[ファイルを選択]から、作成したファイルを選択してください。必要があれば提出コメントを入力し、[レポートを提出する]をクリックしてください。提出後、提出状況の表示(「提出済み」「受理」「再提出」等)を、必ず確認してください。

○あなたの履修

履修登録期間に登録した科目の確認ができます。

※未登録の科目の受講や試験の受験はできません。

○あなたの成績台帳

成績、単位修得状況、GAP 等を確認することができます。

シラバス

授業の内容を確認することができます。成績評価の基準等、履修登録する前に必ず確認してください。

オフィスアワー

授業担当者の連絡先や質問方法、質問時間が掲載されています。授業時間以外で質問する場合には利用してください。

キャビネット

学生ハンドブックや履修のてびき、時間割表などを確認することができます。

B

週間スケジュール

授業の予定や大学の予定を確認できます。

科目名をクリックすると講義連絡等も確認することができます。

なお、隔週科目は毎週表示され、集中科目は表示されません。

C

各お知らせ

全学共通のお知らせ

農大生全体にお知らせしている内容です。

授業の運営方針やシステム障害等重要なお知らせします。

各キャンパスからのお知らせ

所属キャンパスごとのお知らせです。

履修登録や定期試験、奨学金等について、お知らせします。必要な情報を確認してください。

あなた宛のお知らせ

個人宛に送っている内容です。

特定の学科、学年にのみ送信している連絡、授業に関するお知らせ、教員や事務局からの呼び出し等のお知らせがあります。必ず確認し、対応してください。

2 履修登録日程

◇履修登録にあたり「履修のてびき」「学生生活ハンドブック」「シラバス」で修得すべき単位数、各授業科目の履修方法、履修条件を理解しておくことが大切です。

◇履修登録は Web 履修登録です。履修登録の入力方法(24ページ)を熟読し、手続きしてください。

※履修登録前に「住所等の登録」が必要です(29ページ参照)。

履修登録の手順	前学期	後学期	詳細・備考
ガイダンス 履修計画を立てる	4月上旬		「履修のてびき」(当冊子)を配付 配付資料及びシラバス・時間割表(学生ポータルに掲載)を参照して履修計画を立ててください。
授業開始	4月10日	9月26日	各自の履修計画に沿って授業に出席してください。 履修確定前の授業も出席してください。
履修登録期間	4月10日 ～4月16日	9月中旬	履修登録の入力方法に従い学生ポータル「履修登録(修正)」から履修登録してください。 期間中は終夜利用可能 ただし、8:30～10:30 はメンテナンスのため停止 最終日は 17:00 で終了
履修登録開示	4月22日	9月下旬	学生ポータル「あなたの履修」にて正しく登録されているか必ず確認してください。
履修修正期間	4月24日 ～4月26日	10月上旬	履修登録の入力方法に従い学生ポータル「履修登録(修正)」から履修修正してください。 期間中は終夜利用可能 ただし、8:30～10:30 はメンテナンスのため停止 最終日は 17:00 で終了
履修修正登録確定	5月6日	10月中旬	学生ポータル「あなたの履修」にて履修修正が反映されているか必ず確認してください。

※ 後学期日程は、7月下旬に学生ポータルにてお知らせします。

3 履修登録にあたっての注意事項

履修は必ず全学生が各自で登録し、登録内容を確認してください。

※必修科目(当該学年の必修科目)のみ履修する場合でも必ず確認してください。

(1) 履修登録の流れ

- ① 履修のてびき(当冊子)・学生生活ハンドブック「授業科目配当表」(学生ポータル:キャビネット内格納)・時間割表(学生ポータル:教務掲示→時間割表)・シラバス(学生ポータル)を参照し、履修計画を立ててください。
※履修のてびき P23 の「必修科目自動登録単位数一覧表」で、自動登録されている科目数を確認してください。
- ② 学生ポータルの[教務掲示]の[履修登録(修正)]から①で計画した科目を登録してください。(24 ページ～履修登録の入力方法を参照)
- ③ 登録が完了した後、最終確認のため必ず印刷または画面のデータを保管してください。

(2) 履修登録単位数

①履修登録単位数の制限(キャップ制)

学期ごと及び1年間に履修できる単位数は制限されています。これをキャップ制といいます。

上限を超えて登録した場合は、エラーが表示されるので、超えた単位数に応じて科目を削除してください。

履修上限は、学期ごとに22単位まで・年間44単位までです。

※ リメディアル教育科目、専門実用科目、教職課程・学術情報課程科目、東京情報大学との協定に基づく履修科目は制限の対象外とします。

②履修登録単位数のカウント方法

以下のようにカウントします。

- ◇ 前学期科目…前学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 後学期科目…後学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
- ◇ 通年科目…単位数の1/2を各学期にカウントし、年間の単位数としてもカウントします。
※通年で1単位の科目は、前期0.5単位・後期0.5単位とカウントします。
- ◇ 集中科目…年間の単位数としてカウントします。

例) 右の単位数を登録した場合…前学期科目:20単位、後学期科目:18単位、通年科目:2単位、集中科目:4単位

前学期		後学期		年間	
対象科目	単位数	対象科目	単位数	対象科目	単位数
・前学期科目	20			・前学期科目	20
		・後学期科目	18	・後学期科目	18
・通年科目1/2	1	・通年科目1/2	1	・通年科目	2
				・集中科目	4
前学期計	21	後学期計	19	年間計	44

(3) 履修登録上の注意事項

- ◇ 履修番号の登録を間違えると、エラーまたは全く別の科目が登録されるので注意してください。
- ◇ 在籍学年の必修科目は自動登録されているので、登録する必要はありません。
万が一、自動登録科目を変更する場合は、一度科目を削除して新たに登録する科目の履修番号をその時間帯に登録してください。
※一度、原級・留年・再入学・転学部・転学科・転入学及び編入学した者は、卒業まで自動登録されません。必ず、各自で履修番号を登録してください。
※必修科目を再履修する場合も自動登録されません。必ず、各自で履修番号を登録してください。
- ◇ 同時限に開講している科目は、いずれかを選んで履修番号を登録してください。
- ◇ 同一時限に隔週で開講する科目を履修する場合は、同一時限に登録してください。
- ◇ 2時限以上続けて開講する科目は、授業開始時限のみ履修番号を登録してください。
- ◇ 集中科目は、開講学期にあわせて集中講義選択画面で履修番号を登録してください。
- ◇ 通年科目は、前学期授業開始時限のみ履修番号を登録してください。
- ◇ 上級学年の配当科目は履修できません(他学科・他学部聴講の場合も同様)。
- ◇ いかなる理由があっても、後学期の履修変更登録期間に前学期開講科目(通年・前期集中科目含む)の登録・削除はできません。
- ◇ 学生生活ハンドブックの「授業科目配当表」と開講学期が異なることがあるので注意してください。
学生ポータルの時間割表に沿って登録してください。

4 履修登録上、特に注意を要する授業科目

(1) 英語科目

英語(一),(二)についてはガイダンス期間に行うクラス分け試験の結果により履修クラスを決定します。英語(三),(四)については2024年2月に実施した英語到達度試験の結果により履修クラスを決定します。前期・後期開講科目を問わず、クラス分けに関わる試験を受験しない場合英語は原則履修できません。再履修が必要な者は必ずいずれかの試験を受験してください。**クラス変更は認めません。**
※ 外国語科目の基礎英語科目・実用英語科目については、他学部・他学科聴講は認めません。

(2) 共通演習・基礎演習・農学原論・農業実習(一)・(二)

農学部全体でクラス分けを行う。詳細については説明会および配布資料参照のこと。

(3) スポーツ・レクリエーション(一)・(二)

シラバスの授業実施方法、実施種目を確認してから第1回目の授業を受講してください。履修人数に定員を定めており、**クラス分けを行いますので、履修希望者は必ず出席してください。**第1回の授業は体育館で行います。運動は行わないので私服のまま構いませんが、体育館用シューズを必ず着用してください。定員を大幅に上回った場合は、人数調整を行います。授業担当者から履修を認められた者のみ履修登録できます。
※2年次以上の学生は他学科のクラスでも履修可能ですが、必ず希望するクラスの第1回目の授業に出席してください。

(4) ステップ制のある外国語科目

- ◇ 特別講義、中国語、スペイン語など
科目の(一)→(二)→(三)→(四)順序に従い単位修得する科目です。
例えば、(一)の単位を修得しなければ、(二)を履修することはできません。

(5) クラス分けのある授業科目

- ◇ **クラス分けは、所属学科の在学年次の開講科目のみに適用されます(一部を除く)。クラス分けされる科目は、クラス分け表に基づき、自分の所属するクラスを確認してください。**
- ◇ 下級学年次のクラス分けのある科目は、クラスを選んで履修番号を登録してください(一部を除く)。
- ◇ 学科指定のある科目は、自分の学科で履修してください。
- ◇ 外国語科目および、専門教育科目の学科教養科目の時間割に、A・B・C…でクラス分けがある場合は、クラスを選択できます。ただし、指定がある場合があるので、ガイダンス等の指示に従ってください。
- ◇ 教職・学術情報課程の科目に、A・Bでクラス分けがある場合は、クラスを選んで履修してください。

(6) リメディアル教育科目

リメディアル教育科目は、1年次に開講します。年度当初に受講対象者を決定し、対象学生は指定の授業に必ず出席しなければなりません。他学部・他学科の科目は履修できません。**また、卒業要件単位には含まれません。**

(7) 他学部・他学科聴講

- ◇ 同履修者が多く教室に入りきれない状況になった場合は、同授業に限り他学部・他学科聴講の学生は遠隔授業(Zoom同時配信)にて対応する場合があります。
- ◇ 他学部・他学科聴講は、上級学年の配当科目を履修できません。
- ◇ 他学部・他学科の履修登録単位の上限は、在学中合計30単位です。
※可否にかかわらず、履修登録が確定した時点で単位数がカウントされます。
- ◇ 次の科目については他学部・他学科聴講の対象外です。
 - 実験・実習・演習(研修を含む)科目(開発「海外農業実習(一)(二)(三)」を除く)
 - 各学部の総合教育科目(スポーツ関係科目を除く)、外国語科目(初修外国語科目を除く)
 - 一部の学部または学科開講科目

- ・農学「昆虫学」・資源「昆虫学」 ・応生「現代の環境問題」「心の構造」
- ・化学「土壌学」「環境科学」 ・醸造「発酵食品化学」「飲酒生理学」「調味食品学」
- ・健康「リスクマネジメント論」「食品安全健康学概論」
- ・生命科学部「科学と哲学」「経済入門」 ・バイオ「農学概論」「生命科学概論」
- ・生化「農業と化学」「微生物利用学」 ・微生物「英語論文購読」「農学概論」「生物資源工学」
- 「ゲノム情報利用学」「複合微生物利用学」「動物共生微生物学」「植物共生微生物学」
- ・地域「文学概論」「哲学」「地球環境と炭素循環」
- ・森林「森林文化論」「きのこ学」「森林政策学」「森林昆虫学」
- ・工学「作物栽培学」「数学」「応用数学」 ・国際「栽培学入門」「経済学入門」「環境倫理」
- ・開発「熱帯土壌学」「栽培学原論」「植物学」
- ・経済「食料経済学」「食品マーケティング論」「環境社会学」
- ・食農「調理学」「フードスペシャリスト論」「グローバリゼーションと食品流通」「栄養食品科学」

(8) 初修外国語科目

- ◇ 初修外国語科目「中国語・スペイン語」を履修する場合は、いずれかを選択して履修してください(複数の語学を選択することはできません)。

※過去に可否に関わらずどちらかの科目を履修している場合、もう一方の科目を履修することはできません。

※【共通】前学期に履修登録した科目について、単位を修得できなかった場合、後学期に同名科目を再度履修することはできません。

(9) 同名科目

次の表(P14～16)は、複数の学部・学科で開講している同名の授業科目一覧です。以下の点に注意してください。

- ◇ **所属学科(配当学年を問わず)にある科目と同名の科目は、他学科・他学部聴講できません。**

【例】生物資源開発学科の学生は農学科の「環境科学」を履修できません。

→生物資源開発学科は3年次に「環境科学」の開講があるため。

- ◇ 同名科目において、既に単位修得している場合は再度の履修はできません。

科目名	学部	学科	学年
生物学	農学部	全学科	1年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
	地域学部	全学科	1年
	国際学部	全学科	1年
地学	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
	地域学部	全学科	1年
	国際学部	全学科	1年
日本国憲法	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	2年
	生命学部	全学科	2年
	地域学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年
化学	農学部	全学科	1年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
	地域学部	全学科	1年
	国際学部	全学科	1年
物理学	農学部	全学科	1年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
	地域学部	全学科	1年
	国際学部	全学科	1年
中国語(一)	農学部	全学科	2年
	地域学部	全学科	1年
	国際学部	全学科	1年
中国語(二)	農学部	全学科	2年
	地域学部	全学科	1年
	国際学部	全学科	1年
スペイン語(一)	農学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年
スペイン語(二)	農学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年
アイソトープ利用論	生命学部	全学科	3年
AIとスマート農業	国際学部	全学科	3年
応用微生物学	生命学部	バイオ	3年
	生命学部	微生物	3年
海外農業農村開発学	地域学部	全学科	4年
外国史	国際学部	全学科	2年
解剖生理学	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	2年
科学英語	農学部	全学科	4年
実験動物学	農学部	動物	2年
	生命学部	バイオ	3年
芝生論	地域学部	全学科	3年
社会学	地域学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	2年
食農とメディア	国際学部	全学科	3年

科目名	学部	学科	学年
科学と哲学	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
環境科学	農学部	全学科	3年
環境倫理	国際学部	全学科	1年
機器分析学	農学部	資源	3年
	生命学部	全学科	3年
機器分析学概論	応生学部	全学科	3年
起業論	応生学部	全学科	3年
危険物取扱法	生命学部	全学科	3年
技術者倫理	地域学部	全学科	4年
基礎有機化学	応生学部	化学	1年
	生命学部	生化	1年
きのこ学	地域学部	全学科	2年
グローバル化時代の地誌	国際学部	全学科	3年
群集生態学	地域学部	全学科	3年
経営情報論	国際学部	全学科	3年
景観論	地域学部	全学科	1年
経済学	地域学部	全学科	3年
経済入門	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	2年
芸術	農学部	全学科	2年
ゲノム生物学	生命学部	全学科	3年
現代社会の諸問題	農学部	全学科	2年
現代の環境問題	応生学部	全学科	2年
源流文化学	地域学部	全学科	2年
公衆衛生学	応生学部	健康	3年
	応生学部	栄養	3年
国際関係と社会問題	生命学部	全学科	2年
国際関係を考える	農学部	全学科	2年
国際比較農業論	国際学部	全学科	3年
昆虫学	農学部	農学	2年
	農学部	資源	2年
サイエンスコミュニケーション	生命学部	全学科	3年
細胞機能学	応生学部	全学科	3年
細胞生物学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	2年
	生命学部	バイオ	1年
自然再生技術論	農学部	全学科	3年
持続可能社会論	国際学部	全学科	3年
実験計画法	農学部	農学	3年
	農学部	デザイン	2年
	応生学部	化学	4年
実験データ解析概論	応生学部	全学科	3年
食料生産環境学	国際学部	全学科	3年
食料地理学	国際学部	全学科	3年
進化論	応生学部	全学科	2年
	生命学部	バイオ	2年
心理学概論	農学部	全学科	1年

科目名	学部	学科	学年
食品衛生学	農学部	動物	4年
	応生学部	化学	3年
	応生学部	健康	2年
	応生学部	栄養	2年
	生命学部	バイオ	3年
	生命学部	微生物	3年
	国際学部	食農	2年
食品化学	応生学部	醸造	3年
	応生学部	健康	1年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	2年
食品加工学	応生学部	醸造	1年
	応生学部	栄養	2年
	国際学部	食農	2年
食品機能学	農学部	デザイン	3年
	応生学部	醸造	3年
	応生学部	健康	3年
	応生学部	栄養	3年
	国際学部	食農	3年
食品工学	生命学部	微生物	3年
	地域学部	工学	3年
食品工学概論	応生学部	全学科	3年
食品製造学	農学部	デザイン	2年
	応生学部	化学	2年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	3年
食品微生物学	農学部	デザイン	2年
	応生学部	醸造	1年
食品学	国際学部	全学科	3年
植物栄養学	農学部	全学科	2年
植物生長調節論	農学部	全学科	3年
植物生理学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	3年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	2年
植物生理生態学	農学部	全学科	2年
植物病理学	農学部	農学	1年
	農学部	資源	1年
	応生学部	化学	3年
	生命学部	全学科	2年
植物分子育種学	生命学部	全学科	3年
植物分子遺伝学	生命学部	全学科	2年
植物防疫論	農学部	農学	3年
	農学部	資源	3年
	農学部	デザイン	3年
動物管理学	農学部	動物	1年
	農学部	資源	1年
	農学部	デザイン	1年
動物生理学	農学部	動物	1年
	生命学部	バイオ	2年
	生命学部	微生物	2年

科目名	学部	学科	学年
数学	農学部	全学科	1年
	生命学部	バイオ	1年
	生命学部	微生物	1年
	地域学部	工学	1年
生化学	農学部	全学科	2年
	応生学部	健康	1年
	生命学部	バイオ	1年
	生命学部	生化	2年
生化学(一)	応生学部	醸造	2年
	応生学部	栄養	1年
生化学(二)	応生学部	醸造	2年
	応生学部	栄養	2年
生産経営概論	応生学部	全学科	3年
生物環境科学	生命学部	全学科	2年
生物統計学	農学部	動物	2年
	農学部	資源	2年
	応生学部	健康	4年
	生命学部	全学科	1年
生物無機化学	応生学部	化学	1年
	生命学部	生化	3年
生物有機化学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	2年
	生命学部	微生物	1年
生命科学	農学部	全学科	3年
生命倫理	農学部	全学科	2年
	応生学部	全学科	1年
	生命学部	全学科	1年
測量学	地域学部	全学科	1年
畜産物利用学	農学部	動物	4年
	農学部	デザイン	2年
知的財産概論	応生学部	全学科	3年
	生命学部	全学科	3年
知的財産論	農学部	全学科	3年
調理学	応生学部	栄養	1年
	国際学部	食農	3年
地理学	国際学部	全学科	2年
哲学・倫理学	地域学部	全学科	1年
統計学	応生学部	全学科	3年
	地域学部	全学科	2年
統計基礎	国際学部	全学科	2年
糖質化学	生命学部	全学科	3年
動植物園論	農学部	全学科	3年
動物解剖学	農学部	動物	1年
	農学部	資源	2年
	農学部	デザイン	2年
分子生物学	農学部	全学科	3年
	応生学部	化学	1年
	応生学部	健康	2年
	生命学部	バイオ	2年
分子設計学	生命学部	生化	2年
	生命学部	全学科	3年

科目名	学部	学科	学年
動物分子遺伝学	生命学部	全学科	3年
土壌学	農学部	農学	1年
	農学部	資源	1年
	応生学部	化学	2年
	国際学部	全学科	1年
日本史	国際学部	全学科	1年
日本の森林文化	地域学部	全学科	2年
農学概論	農学部	全学科	1年
	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	1年
	生命学部	バイオ	1年
	生命学部	微生物	1年
	地域学部	創成	1年
	国際学部	食農	1年
農業インターンシップ	農学部	全学科	2年
農業気象学	農学部	全学科	2年
農業経営学	農学部	全学科	2年
	国際学部	経済	2年
	国際学部	ビジネス	2年
	国際学部	食農	3年
農業経済学	国際学部	開発	1年
	国際学部	ビジネス	1年
農業昆虫学	地域学部	創成	3年
	国際学部	開発	2年
農業政策論	国際学部	経済	1年
	国際学部	ビジネス	2年
農産物マーケティング論	農学部	全学科	3年
農と科学の歴史	応生学部	全学科	1年
農業化学・毒理学	生命学部	全学科	3年
バイオインフォマティクス	応生学部	醸造	3年
	生命学部	全学科	2年
バイオプロセス工学概論	応生学部	醸造	3年
	生命学部	全学科	3年
微生物学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	2年
	応生学部	栄養	1年
	生命学部	バイオ	1年
微生物環境学	地域学部	全学科	1年
病理学	応生学部	健康	2年
	応生学部	栄養	2年
プレゼンテーション英語	農学部	全学科	3年
文学	地域学部	全学科	1年
文化人類学	農学部	全学科	2年
	国際学部	全学科	1年

科目名	学部	学科	学年
分析化学	応生学部	醸造	1年
	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	1年
	生命学部	生化	1年
	国際学部	全学科	1年
法学入門	国際学部	全学科	1年
放射線科学	応生学部	全学科	3年
マーケティング学	応生学部	全学科	3年
マーケティング入門	生命学部	全学科	1年
無機化学	応生学部	健康	1年
	生命学部	全学科	1年
免疫学	応生学部	化学	2年
	応生学部	健康	3年
	生命学部	バイオ	3年
有機化学	応生学部	健康	1年
	応生学部	栄養	2年
	生命学部	バイオ	1年
有機化学(一)	応生学部	醸造	1年
	生命学部	生化	1年
有機化学(二)	応生学部	醸造	2年
	生命学部	生化	2年
歴史学	地域学部	全学科	1年

5 英語による専門教育プログラムの履修登録

Courses Offered by Special Program (Conducted in English) :
「Agriculture, Food and Environment」

◎ 「英語による専門教育プログラム」受講の勧め

日本人の学生はもとより海外からの留学生に対して、日本およびほかのアジア諸国における食料、農業ならびに環境に関する現状と課題を総合的に理解してもらうことを目的に、開講している科目です。英語での授業を通じて、日本人の学生にとっては、専門分野を幅広い視点で学ぶことができ、また留学生や海外協定校学生とともに英語で学ぶ絶好の機会となります。将来を通じた自分のキャリア・ステップを考慮に入れて、受講されることを強くお勧めします。

(1) Program Title:

Special Program (Conducted in English) : Agriculture, Food and Environment

(2) Rationale

An integrated approach is important for the solution of problems of mankind in such areas as food, environment, health, resources and energy, which are all mutually related and interwoven. The food problem generally refers to problems of food production, distribution and consumption, thus covering a wide range of topics. For instance, food production is closely related not only to natural environment but also agricultural and food processing technologies. Distribution of food is determined by political and economic mechanisms, while improved storage and distribution technologies have tremendously contributed to the widening scope of marketing. Food consumption is highly related to the level of income, but culture, social norms and dietary habits are other key determinants of what and how people consume food.

Modern agricultural science has greatly contributed to increased food production, which has expanded beyond global population growth. However, problems of environmental destruction and unassured food safety have also emerged. The urgent need to assure environmental conservation and safe food supply are now globally recognized. At Tokyo University of Agriculture, a multidisciplinary, all-university-education program is now being offered for the study of food and environment. Integrated learning of agriculture, food and environmental issues guides students to see how they can make a contribution to solving global issues in modern society.

This program provides the opportunity for Japanese students as well as international students to gain holistic understanding on issues of food, agriculture and environment in Japan and other Asian countries.

(3) Time Table (in 2024)

The courses are offered to all students in 2024. It is our advice that you select courses according to your English ability.

【First semester】

Environment and Agriculture

Agriculture and Economic Development (Food and Environment in Economic Development)

Agricultural Trade*

Food and Health 1

Forest and Forestry

Global Food Systems

Japanese Agricultural Development*

Plants for Landscape Architecture(Life History and Applications of Landscape Plants)
Planning and Design of Landscape Architecture
Vegetable Production Technologies for International Cooperation*
Introduction to Bioindustry*
Introduction to Japanese Linguistics (Edo Aesthetics and Environmental Resiliency)
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population*

* This course will not be offered after 2025.

【Second semester】

Japanese Food Culture (Comparative Nature Study from Cultural Perspective)
Agricultural Scientific English for International Cooperation*
Agro-Environmental Engineering
Comparative Developing Agriculture
Comparative Food Production Technologies
Ecology and Agricultural Production
Agroecology and Food Production (Ecology and Food Production)
Food and Health 2
Farmers and Consumers in Japan (intensive)*
Group Approach to Food and Environment (intensive)
Field Study of Food and Environment (intensive)
Sustainable Agriculture in Asia (intensive)
Molecular Biology and Biotechnology

* This course will not be offered after 2025.

(4) 修得単位数について

本プログラム科目は、30 単位を上限として修得ができます。修得した単位は、東京農業大学学則第 15 条の 3 に定められているとおり、卒業単位に含めることができます。ただし、学科毎に卒業単位に含めることができる単位の上限が異なるため、注意してください。

2024年度 英語による専門教育プログラム ガイドライン一覽(旧カリ)

科目名	項目	開講 キャンパス	主な履修対象者	履修者に求める英語能力	難易度	履修者に求める専門性	備考
Introduction to Japanese Linguistics/ 旧カリ: Edo Aesthetics and Environmental Resiliency		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本語や英語、もしくは言語一般に興味があればよい	
Environment and Agriculture		世田谷	全学生	初級	初級	-	
Agriculture and Economic Development/ 旧カリ: Food and Environment in Economic Development		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 協力隊希望者	中級	中級	-	英語でのプレゼンテーションが必須(全員)である。
Food and Health 1		世田谷	外国人留学生、 visiting student、 日本人学生	中級	中級	食品、発酵および健康に興味を持ち、ある程度の専門用語を理解できること。	毎回異なるテーマに焦点を当てたオムニバーズの講義で知識を広げます。
Forest and Forestry		世田谷	全学生	英語能力よりほ学習とする姿勢を重視	初級	-	森林に関心の高い学生。 ※学部学科を問いません
Global Food Systems		世田谷	全学生	初級	初級～中級	一般常識と知的好奇心があれば問題ない	
Japanese Agricultural Development【旧カリ補講】		世田谷	全学生	初級～中級	初級～中級	日本の農業や食品産業に関する基礎的な知識があるとよい	
Plants for Landscape Architecture/ 旧カリ: Life History and Applications of Landscape Plants		世田谷	全学生	中級	中級	植物学に興味があること	現地見学を行う(休日)
Planning and Design of Landscape Architecture		世田谷	外国人留学生、 visiting student	中級	中級	日本の自然環境や文化	休日を活用して現地見学を教回、受講する。大人数の引継は困難である
Vegetable Production Technologies for International Cooperation【旧カリ補講】		世田谷	全学生	中級以上	中級	Aeronomy、栽培学である	
Introduction to Biotechnology【旧カリ補講】	オホーツク	オホーツク	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	初級～中級	初級～中級	自然科学一般である	
Agricultural Scientific English for International Cooperation【旧カリ補講】		世田谷	全学生	-	中級	-	講義は日本語で実施(Lectures will be given in Japanese)
Agricultural Trade		世田谷	全学生	中級以上	中級	農業経済関連の時事に関心があることが望ましい	
Agro-Environmental Engineering		世田谷	全学生	初級	初級	-	
Comparative Developing Agriculture		世田谷	全学生	中級以上 (英語でディスカッションできるレベル)	中級	-	
Comparative Food Production Technologies【旧カリ補講】		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	英語力中級～上級	中級～上級	作物学、遺伝・育種学、害虫学、環境科学、森林生態学である	
Ecology and Agricultural Production		厚木	全学生	中級以上	中級	学部4年時までの必修専門科目の単位をすべて修得していること	専門的な教育を英語で修得するため、ある水準以上の英語力と履修の基本的な知識を必要とする
Agroecology and Food Production/旧カリ: Ecology and Food Production		世田谷	全学生	英語の専門テキストが理解なく理解でき、 英語でディスカッションできるレベル	中級以上	-	
Food and Health 2		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級以上	中級～上級	食品と健康に興味があり、ある程度の専門用語を理解できること	
Farmers and Consumers in Japan【旧カリ補講】		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student、 協力隊希望者	学ぶ意欲を重視	初級～中級	-	フィールドトリップのための適正規模とする
Group Approach to Food and Environment		世田谷	日本人学生、 外国人留学生	上級 (TOEIC500以上目安)	中級～上級	海外留学中の学生と英語でのディスカッションを行うための英語力 と語学力を持つものとする	8月に開講される「食と農と環境を考える世界学生サミット」に議長または発表者として 参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム、参加費60,000円程度は自己負担)
Field Study of Food and Environment※		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、アグロエコロジーに 興味を持つものとする	7月末に集中開講される「Comprehensive International Education Program (CIIEP)」に 参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム、参加費60,000円程度は自己負担)
Sustainable Agriculture in Asia※		世田谷	日本人学生、 外国人留学生、 visiting student	中級～上級 (TOEIC450以上目安)	中級～上級	日本を含むアジアの持続的農業、農業経済、アグロエコロジーに 興味を持つものとする	7月末に集中開講される「Comprehensive International Education Program (CIIEP)」に 参加することが条件である (約1週間の宿泊を伴うプログラム、参加費60,000円程度は自己負担)
Molecular Biology and Biotechnology		世田谷	全学生	中級以上	上級	基礎的な生物物理学の知識を有すること	
Eastern Hokkaido: Identifying Opportunities in a Region of Declining Population【旧カリ補講】	オホーツク	オホーツク	日本人学生、 外国人留学生	中級以上	中級以上	-	英語能力が中級以上ではないと、ディスカッションなどに参加しにくくなる
Japanese Food Culture/ 旧カリ: Comparative Nature Study from Cultural Perspective		世田谷	全学生	中級以上	中級	日本の食に興味があること	

※1 英語能力の目安 初級:TOEIC300程度 中級:TOEIC400程度 上級:TOEIC500以上

6 「特別講義」履修登録について

- ①「特別講義」は厚木キャンパスで1コース、世田谷キャンパスで複数コースを開講します。在学中4コースまで履修し単位を修得することができます。(特別講義(一)・特別講義(二)・特別講義(三)・特別講義(四))
- ②開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。
- ③はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を履修登録してください。前年度までに特別講義の単位を修得し、今年度も履修する場合は順次(二)・(三)・(四)を履修登録してください。

(1) 2024年度 厚木キャンパス「特別講義」について

学期	曜日	時限	履修番号	科目名	履修単位	評価責任者
前学期	水曜日	5-6	A1060	特別講義(一)	2	馬場 正
			A1061	特別講義(二)		
			A1062	特別講義(三)		
			A1063	特別講義(四)		

※2024年度の特別講義は、履修者がトリニティホールの収容数を超過することが見込まれるため、各回ごとに指定された学科の履修者がトリニティホール、それ以外の学科の履修者は教室での同時配信受講となります。

日程	テーマ	講師	農学	動物	資源	デザイン
4月10日	フィールドの楽しさを知ろう！ ～年間300日をフィールドで過ごす写真家が楽しみ方を伝授します～	福田 幸広	1102	トリニティ	トリニティ	1103
4月17日	雑草と闘う	松本 征太郎	トリニティ	1102	1103	トリニティ
4月24日	農業と気候変動、わたしたちのこれから ～サステナビリティの現場から	新美 陽大	トリニティ	1102	1103	トリニティ
5月15日	Mysterious Fish mehikari	黒田 孝弘	トリニティ	1102	1103	トリニティ
5月22日	神奈川県農業とポストハーベスト研究	吉田 誠	トリニティ	1102	1103	トリニティ
5月29日	自然の変化を写真で記録する	永幡 嘉之	1102	トリニティ	トリニティ	1103
6月5日	生殖補助医療技術と妊孕性温存療法	田崎 秀尚	1102	トリニティ	トリニティ	1103
6月12日	法規制薬物と植物	花尻 瑠理	1102	トリニティ	トリニティ	1103
6月19日	農家に学び地域と共に80年歩み続ける出版社「農文協」 ～新米職員の日常と思うところ～	津田 美優	トリニティ	1102	1103	トリニティ
6月26日	犬と人	田所 理紗	1102	トリニティ	トリニティ	1103
7月3日	「何をしたいのかを考える」	吉ヶ崎 大作	トリニティ	1102	1103	トリニティ
7月10日	A2牛乳の開発と普及	藤井 雄一郎	1102	トリニティ	トリニティ	1103

(2) データサイエンス基礎について

ライブオンライン講義、オンデマンド講義および PC を用いた実習を通し、数理、統計学、AI、データサイエンス分野の動向を俯瞰し、これらの分野の基礎的素養及び知識・技能の修得を目的とする。本講義は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの必修科目となる。

【「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」を構成する科目と修了要件単位数】

分野		授業科目		単位数	修了必要 単位数	
総合教育 科目	全学共通 科目	導入科目	コア科目	情報基礎(一)	2 単位	2 単位
		導入科目		情報基礎(二)	2 単位	2 単位
		課題別科目		特別講義 データサイエンス基礎 ※	2 単位	2 単位
専門教育科目	学科専門科目	専門基礎科目	関連科目	実験計画法	2 単位	2 単位以上
		専門基礎科目		生物統計学	2 単位	
		自然関係科目		統計学	2 単位	
		専門共通科目		統計基礎	2 単位	
合 計					8 単位以上	

※情報基礎(一)と情報基礎(二)の単位を修得していなければ特別講義 データサイエンス基礎を履修できません。

【「特別講義 データサイエンス基礎」の履修登録について】

「特別講義 データサイエンス基礎」は全学部生を対象に開講します。

「情報基礎(一)」と「情報基礎(二)」の単位を修得していれば学年を問わず履修できます。

(注)ライブオンラインの授業では Web カメラ、イヤホン(ヘッドホン)、マイクが必要です。

【「特別講義 データサイエンス基礎」の特徴】

- ・授業内容は可能な限り農業に関する親しみやすい事例を取り入れることにより、解りやすい実習、ワークショップを通じて、AI 時代における実学主義を涵養します。
- ・富士通株式会社との包括連携協定に基づく人材交流によって、実践的かつ本学の専門性に沿った講義を複数回設定し、データサイエンスの活用イメージが湧く授業内容を取り入れます。
- ・より多くの学生が受講できるよう、授業はオンライン(オンデマンド、ライブ)で行います。

「特別講義 データサイエンス基礎」の 2024 年度授業(概要)は <https://www.nodai.ac.jp/datascience/> の「7. 特別講義 データサイエンス基礎の授業内容」を参照してください。

授業詳細は <https://nodaiweb.university.jp/datascience/> を参照してください。

関連科目一覧

学科	区分	開講学年	科目名	学科	区分	開講学年	科目名
農学	選択	3	実験計画法	微生物	必修	1	生物統計学
動物	必修	2	生物統計学	森林	選必	2	統計学
デザイン	必修	2	実験計画法	工学	選必	2	統計学
化学	選必	1	統計学	造園	選必	2	統計学
醸造	選必	1	統計学	創成	選必	2	統計学
健康	選択	1	統計学	開発	選択	2	統計基礎
健康	選択	3	生物統計学	経済	選択	2	統計基礎
栄養	選必	1	統計学	ビジネス	選択	2	統計基礎
バイオ	必修	1	生物統計学	食農	選択	2	統計基礎
生化	必修	1	生物統計学				

(注1) 関連科目の開講の無い学科は他学部・他学科聴講で履修してください。

(3) 「東京農業大学STEAM教育講座」について

学期	曜日	時限	履修番号	科目名	履修単位	評価責任者
通年	水曜日	5	A 1151	特別講義(一)	2	櫻井 健志
			A 1152	特別講義(二)		
			A 1153	特別講義(三)		
			A 1154	特別講義(四)		

【開講目的】

今日、わが国の目指す社会像として、ウェルビーイングの実現や社会的分断の改善、国際的視野に基づいたSDGsへの貢献、そして全世代における学習社会の構築などのことが挙げられている。その実現のために高等教育における人材育成としては、自分の興味関心を追究しながら高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定し、その解決を多角的に、多様な人材とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造していく人材が求められている。そのための手段として、文理融合の学びや探究学習、STEAM教育の強化が重視されている。本講義では、特にSTEAM教育(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)に視点を置き、社会課題に対するSTEAMの事例をあげながら、身近な話題を総合農学の視点から紐解いていく。

7 全学共通科目「日本語」の履修登録

この科目は、外国人留学生及び帰国生を対象として開講する授業科目です。**この場合の単位は、他学科・他学部において修得することができる各学部・各学科に定める単位数と合わせて30単位以内とします。ただし、卒業要件に加えることができる単位数は16単位を上限とします。**

8 東京情報大学との協定に基づく科目の履修登録

※ 学生教務課窓口で確認してください。

9 必修科目自動登録単位数一覧表

学科	学期	1年次	2年次	3年次	4年次
農学	前学期	20/22	6/22	6/22	6/22
	後学期	14/22	4/22	6/22	6/22
	年間	34/44	10/44	12/44	12/44
動物	前学期	18/22	13/22	1/22	3/22
	後学期	10/22	5/22	1/22	3/22
	年間	28/44	18/44	2/44	6/44
資源	前学期	14/22	16/22	6/22	6/22
	後学期	10/22	4/22	6/22	6/22
	年間	24/44	20/44	12/44	12/44
デザイン	前学期	14/22	13/22	5/22	5/22
	後学期	12/22	13/22	3/22	5/22
	年間	26/44	26/44	8/44	10/44

○この表は自動登録してある必修科目の単位数を表示している。

○この単位数を確認し履修登録単位数制限以内で履修登録を行うこと。

※登録されている必修科目を取り消して別の科目を登録する場合は、当該科目の開講曜日・時限に履修番号を登録すること(これにより自動登録されている必修科目は削除される)。

○次の学生は、自動登録されないので、必修科目についても履修番号を登録すること。

原級・留年・再入学・編入学・学士編入学・転入学・転学部及び転学科した者。必修科目を再履修する者。

○前年度までに履修登録した他学科・他学部聴講及び大学間履修の登録総単位数を成績台帳で確認して上限を超えて登録しないよう注意すること。

10 履修登録の入力方法

履修登録は学生ポータル「履修登録(修正)」から行います。登録方法は以下のとおりです。

(1) 「履修登録(修正)」をクリック

住所等の登録を行っていない学生は、Web 履修システムを利用することができません。

※住所等の登録については、29 ページ参照



履修登録画面が表示されます。

履修登録画面

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時帯を選択してください。

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後期中	S808	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

上院	下院	履修単位	前学期		後学期		年間	累積	
			25	5	25	11		49	16
上院	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属他大学、他学部、他学科
入力内容を確認する

初期表示は該当の年度・学期の登録画面であり、登録されている開講科目が表示されています。

①他所属講義

コマに他所属講義がある場合、他所属を表す画像[他]が表示されます。

②再履修科目

コマに再履修科目がある場合、再履修を表す画像[再履修]が表示されます。

③履修単位

学期、年間、累積(他所属のみ)の履修単位数を確認できます。

学期、年間は制限単位数(黒字)と、履修中の単位の合計(赤字)を表示します。

累積は制限単位数(黒字)と、今まで履修してきた単位+登録中の単位の合計(赤字)を表示します。更にカッコ内に前の学期までの数が表示されます。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

(2) 履修登録の追加

新しく履修登録を追加(履修を申請)する方法について

① []からの登録

①-1. 時間割表にある新規追加アイコン([]アイコン)をクリックします。

2016年 前学期	2016年 後学期				
時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)	
2時限		S3179 生物物理化学【日 方】 20159の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)	
3時限	S6263 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0519 英語(四) 201067の氏名(職)		

[]アイコンをクリック

①-2. 開講科目選択画面が表示されます。

所属学部学科開講科目と全学開講科目が表示されます。

選択	開講番号	必修種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input type="checkbox"/>	O3154		TOEIC英語(二) 生 B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	須田 誠			
<input type="checkbox"/>	O3222		TOEIC英語(二) ア B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	朝田 正司			
<input type="checkbox"/>	O3331		TOEIC英語(二) 食 B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	関山 愛			
<input type="checkbox"/>	O3471		TOEIC英語(二) 産 B 新カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	南田 育江			
<input type="checkbox"/>	O5302		TOEIC英語(二) ア B 現カリ	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	宮坂 晃崇			
<input type="checkbox"/>	S0640	必	英語(四)セ光~日2 A	【総合教育科目 全学 共通】英語科目	2	橋本 悠太	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	

「開講番号(履修番号)」「開講科目名・担当教員」等の情報を確認する。表示されている開講科目から選択し「登録する」をクリックします。




②[開講科目検索]からの登録

②-1. 開講科目を検索して登録します。

2016年 前学期	2016年 後学期				
時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)	

[開講科目検索]をクリック

②-2. 検索画面が表示されます。

2016年 前学期	2016年 後学期				
時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)	

「開講番号」で検索する場合の注意

- 履修番号4桁の数字の前に、必ず半角英字をつけてください。
- 世田谷キャンパスの科目:「S****」
- 厚木キャンパスの科目:「A****」
- オホーツクキャンパスの科目:「O****」

③[他所属講義選抜]からの登録

③-1. 他所属講義(他学部・他学科所属)を登録します。

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花卉栽培論 20157の氏名(職)			O1356 情報基礎(二)食 新力) 201500の氏名(職)	

[他所属講義選抜]をクリック

③-2. 他所属講義選抜画面が表示されます。

選択	開講番号	必要種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input checked="" type="checkbox"/>	S6517		花卉栽培論 農学2	他学部農学	2	山之内 貞夫			他

表示されている開講科目を選択し、
[登録する]をクリックします。

※他所属講義科目を追加

表示されている開講科目以外の開講科目を登録する場合は、[開講科目を追加する]をクリックすると登録できます。

④[集中講義選抜]からの登録

④-1. 集中講義を登録します。

[集中講義選抜]をクリック

④-2. 集中講義選抜画面が表示されます。

選択	開講番号	必要種別	開講科目名	分野系列	単位	担当教員	再履修	有料	情報
<input type="checkbox"/>	O1139		特別講義(一) 生 A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	高橋 幸助			集中
<input type="checkbox"/>	O1285		特別講義(一) ア A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	長谷川 根			集中
<input type="checkbox"/>	O1306		特別講義(一) 食 A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	沖田 太郎			集中
<input type="checkbox"/>	O1448		特別講義(一) 産 A	【総合教育科目 全学共通】課題別科目	2	中山田 正人			集中
<input type="checkbox"/>	O1504		日本語(一) 英 新制1	全学共通	2	小向 アリフ			集中

「開講番号(履修番号)」「開講科目名・担当教員」等の情報を確認します。
表示されている開講科目から選択し
[登録する]をクリックします。

(3) 履修登録科目の削除
履修を削除することができます。

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録	登録済	変更不可
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
1時限	他 S8517 花卉栽培論 20357の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)		
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カリ】 20359の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)		
3時限	S8293 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)			

登録中の登録科目名をクリックすると、削除画面へ遷移します。

※必修科目などの自動登録科目を削除する場合、注意メッセージ等が表示されます。

(4) 登録内容が反映された履修登録画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

履修したい開講科目のある曜日・時限を選択してください。

集中講義選択 他所属講義選択 開講科目検索

2016年 前学期		2016年 後学期		未登録	登録済	変更不可
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
1時限	他 S8517 花卉栽培論 20357の氏名(職)			O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)		
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カリ】 20359の氏名(職)		O1356 情報基礎(二) 食 新カリ 20350の氏名(職)		
3時限	S8293 共通演習 101547の氏名(職) 他		再履修 有料履修 S0518 英語(四) 201067の氏名(職)			
4時限	再履修 有料履修 O1144 英語(二) 生 A 新カリ 20219の氏名(職)					
5時限						
6時限						
7時限						

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8068	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

		前学期	後学期	年間	累積
上限	履修単位	25	5	25	11
下限		-	-	-	-
上限	他所属	0	2	2	10

※他所属他大学・他学部・他学科

入力内容を確認する

前述(2)~(3)の手順を繰り返し、登録したい開講科目をすべて選択し終えたら、[入力内容を確認する]をクリックします。

※履修単位の上限については、カリキュラム・学科によって異なります。

※この時点では、まだ履修登録は完了していません。

(5) 履修登録内容確認画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

← 入力画面へ戻る

履修内容を確認してください。

→ 退学卒業見込判定結果を表示する

2016年 前学期	2016年 後学期				
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花弁栽培論 20197の氏名(備)			O1356 情報基礎(二) 食 新 カ/ 20500の氏名(備)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カ/】 20193の氏名(備)		O1356 情報基礎(二) 食 新 カ/ 20500の氏名(備)	
3時限	S9203 共通演習 11947の氏名(備) 他		[再履修] [資料履修] S0616 英語(四) 20197の氏名(備)		
4時限	[再履修] [資料履修] O1144 英語(二) 生 A 新カ/] 20215の氏名(備)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8090	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

上限	履修単位	前学期		後学期		年間		累積	
		25	5	25	13	49	18	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属:他大学、他学部、他学科

← 入力画面へ戻る

➡ この内容を登録する

内容を確認し、問題なければ
[この内容を登録する]をクリックします。

※履修単位の上限については、
カリキュラム・学科によって異なります。

(6) 履修登録完了画面

履修登録

登録内容入力 → 登録内容確認 → 登録完了

以下の内容を登録しました。

プレビューを確認して下さい

→ 印刷する

2016年 前学期	2016年 後学期				
時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	他 S6517 花弁栽培論 20197の氏名(備)			O1356 情報基礎(二) 食 新 カ/ 20500の氏名(備)	
2時限		S8179 生物物理化学【旧 カ/】 20193の氏名(備)		O1356 情報基礎(二) 食 新 カ/ 20500の氏名(備)	
3時限	S9203 共通演習 11947の氏名(備) 他		[再履修] [資料履修] S0616 英語(四) 20197の氏名(備)		
4時限	[再履修] [資料履修] O1144 英語(二) 生 A 新カ/] 20215の氏名(備)				
5時限					
6時限					
7時限					

集中講義

学期	開講番号	開講科目名	担当教員
後集中	S8090	インターナショナル・スタディーズ(二)	村西 雄二

上限	履修単位	前学期		後学期		年間		累積	
		25	5	25	13	49	18	-	-
下限		-	-	-	-	-	-	-	-
上限	他所属	-	0	-	2	-	2	10	6(4)

※他所属:他大学、他学部、他学科

登録番号: 108

履修登録が完了すると、画面右下に「登録番号」
が表示されます。

履修に関する問い合わせには、根拠資料として
「登録番号」が必要です。必ず、登録番号を控え
てください。

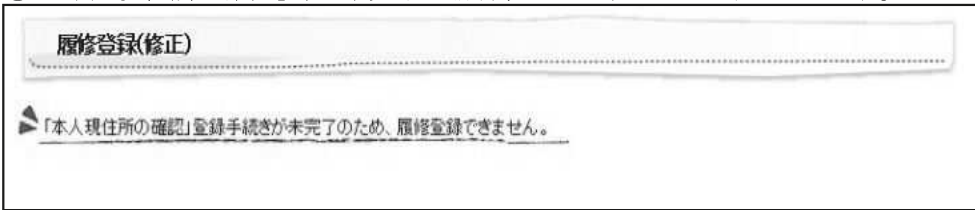
右上の[印刷する]ボタンをクリックし、必ず印刷ま
たは画面データで、履修登録完了画面を保管して
ください。(修正した場合も同様)

※この時点で 履修登録が完了

(7) 履修登録ができない場合

履修登録を行うためには、「住所等の登録」を行ってください。

① 「本人現住所の確認」等が未完了の場合、エラーメッセージが表示されます。



②メニュー画面から「住所等の登録」をクリックします。タブおよびサイドメニューから選択できます。

※「住所等の登録」は毎年行う必要があります。



11 履修確認について

- (1) 履修登録開示の日程に、学生ポータルで履修登録状況を確認してください。(日程等は10ページを参照)
- (2) **履修登録の内容に修正がある場合は、必ず履修修正期間に学生ポータルから修正してください。**
- (3) 履修登録は履修番号に基づき行っています。履修番号を誤って登録すると、エラーが表示されるか、全く別の授業科目が登録されます。必ず、登録されている授業科目名・クラス・担当者を確認してください。
※履修登録をしていない科目は、授業に出席しても単位は認定されません。

12 履修確定について

- (1) 学生ポータルで履修登録状況を確認してください。日程等は学生ポータルでお知らせします。
- (2) 履修登録(修正・変更を含む)期間では、**自分の登録画面(28ページ(6)の履修登録完了画面)を必ずプリントアウト**し、いつでも確認できるようにしてください。
- (3) 用語の説明
 - ◇ 正規履修…… 所属する学部・学科で開講している科目を初めて履修登録する場合の登録種別。在学年次授業科目の場合は、指定したクラス分けに従い履修登録してください。低学年次の授業科目の場合は、クラスを選んで履修登録してください。
 - ◇ 再履修 …… 一度履修した授業科目のうち、不合格(不可または未評価)になった授業科目を再度履修する場合の登録種別。
 - ◇ 他学科聴講… 所属する学科以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他所属累計単位数にも加算します。
 - ◇ 他学部聴講… 所属する学部以外の学科で開講している科目を履修する場合の登録種別(教職課程科目を除く)。なお、一度履修し、不合格のため再度履修する場合は、他所属累計単位数にも加算します。

13 授業について

本学では授業に関するさまざまな情報を学生ポータルにて開示しています。授業を受講するにあたっては、次の事項について把握してください。

- (1) 授業内容の確認
シラバス(学生ポータル上)を活用してください。シラバスに教育目的・各回の内容・受講上の注意事項などが記載されています。
- (2) 授業の開講に関する情報
 - ◇ 授業が休講になる場合は、学生ポータルの「休講情報」にて伝達します。
 - ◇ スマートフォンからも確認することができます。
 - ◇ 休講となった授業の補講については、授業中における担当教員からの指示または学生ポータルにおいて周知するので確認してください。
 - ◇ 授業の教室を変更する(した)場合は、学生ポータルに掲載します。
- (3) 先生方への質問や相談
授業に関する質問や相談は授業中に行うのが原則ですが、次の方法で行うことも可能です。
 - ◇ オフィスアワーを確認して先生にメール等で連絡する、または研究室などを訪ねる。
オフィスアワーとして教員が学生の相談を受け付ける時間を設定しています。各教員のオフィスアワーは学生ポータルで確認することができます。(6ページ(2)各メニューの使い方を参照)
- (4) 学生による「授業評価および学修時間等アンケート」
本学では、学生に対して質の高い授業を保証するために、前学期と後学期に学生による「授業評価および学修時間等アンケート」を実施しています。なお、実施の方法については、学期毎に学生ポータルに掲示します。
- (5) 授業のことで困ったら…
 - ◇ やむを得ない事由で授業を欠席する場合は、学生教務課横のラックに置いてある「授業欠席届」に必要な事項を記入の上、授業担当者に提出してください。ただし、欠席事由に関わらず、授業科目の出席及び成績評価等の取扱いについては、授業担当者の判断とします。なお、学校保健安全法に規定された感染症等による欠席は「出席停止」扱いとなります。「出席停止」に関する詳細は学生教務課に確認してください。
 - ※授業欠席届は学生ポータルからもダウンロード可能。
教務掲示→授業日関係→申請書→世田谷厚木キャンパス→授業関係
 - ◇ 履修登録および評価に関する質問・相談等は、学生教務課窓口で受け付けます。
※電話では受け付けていないので注意してください。
- (6) 出席の重要性
授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学ぶ場であり、学生生活の基本となるものです。また、単位制の基本となる授業時間について定めがあるように、出席状況は成績評価の重要な要素になります。3分の2以上出席していない場合は、定期試験等を受験しても単位を修得できない場合があります。

14 試験について

授業科目の履修状況进行评估し、単位を認定するために試験を行います。授業科目によっては、レポート等に代える場合があります。授業に出席し授業担当者の指示にしたがってください。

(1) 受験資格

- ① 当該授業科目を履修登録している。
 - ② 当該授業担当者の定める出席日数を満たしている(原則として授業日数の2/3以上の出席が必要)。
 - ③ 当該学期までの学費、その他の納付金を納入している。
- ※ 休学期間中に試験を受けることはできません。

(2) 定期試験

一定期間内に時間割を決めて各学期に実施します。定期試験を実施する授業科目及びその時間割は、試験開始約1週間前に学生ポータルで発表します(実験・実習・演習科目は、原則として「定期試験」を実施しません)。

なお、定期試験またはそれに代わる試験を病気その他やむを得ない事由により欠席した場合は、指定された期日(試験時間割発表時に掲示)までに欠席の事由(当日の状況など)を証明する書類を学生教務課に提出し、試験欠席手続きを行ってください。この届出により、追試験の受験を認めます。

※欠席事由と添付提出書類は次のとおり

欠席事由	提出書類
病気	医師の診断書(試験当日の健康状態が記載されたものに限る) または病院の領収書(日付及び氏名が記載されたもの) ※学校保健安全法に規定された感染症は、専用の様式があります。
交通機関の遅延	交通機関発行の遅延証明書
忌引(三親等までの親族の死亡)	死亡に関する書類(会葬通知等)
就職試験等	就職活動証明書(キャリアセンターで証明を受けること) ※原則、最終選考(役員面接等)を対象とします。また、事由によっては証明が受けられない場合がありますので、必ず試験前にキャリアセンター窓口で確認してください。なお、企業説明会は認められません。
災害(水害・火災等)	官公庁による被災証明書

(3) 定期試験に関する注意事項

- ◇ 試験時間は45分間です。通常の授業時間とは異なるので注意してください。
- ◇ 学生証を所持していない学生は受験できません。なお、当日忘れた場合は、学生教務課にて仮学生証の発行を受けてください(有料 500円・当日限り有効)。
- ◇ 受験科目が重複した場合は、事前に申し出てください。
- ◇ 試験場への入場は、試験開始後20分までとします(試験開始後は退場できません)。
- ◇ 試験場または受験科目・授業担当者の間違い、もしくは無記名答案は受験しても無効となります。
- ◇ 答案は白紙であっても必ず提出してください。
- ◇ 不正行為が発覚した場合は、当該学期の評価をすべて無効(未評価)とします。
- ◇ 試験場においては、すべて監督者の指示に従うようにしてください。
- ◇ その他試験に関しては学生教務課へ問い合わせてください。

【試験時間】

授業時限	試験時限	試験時間
1時限	1時限	9:00～ 9:45
	2時限	10:00～10:45
2時限	3時限	11:00～11:45
	4時限	12:00～12:45
3時限	5時限	13:00～13:45
	6時限	14:00～14:45

授業時限	試験時限	試験時間
4時限	7時限	15:00～15:45
	8時限	16:00～16:45
5時限	9時限	17:00～17:45
5・6時限	10時限	18:00～18:45
6時限	11時限	19:00～19:45

(4) 追試験

定期試験またはそれに代わる試験を、病気・その他やむを得ない事由(「(2)定期試験」を参照のこと。)により、受験できなかった者のうち、指定された期日までに試験欠席届を提出した者に対して、追試験期間中に試験を行います。追試験の実施方法は、試験開始約1週間前に学生ポータルサイト・掲示板にて掲示するので確認してください。

※ 追試験を欠席した場合の再度の試験は行いません。

15 成績質問について

各学期に履修した授業科目の評価(成績)については、学生ポータル上で確認してください。この成績に関して質問がある場合は、成績開示後に成績質問票を提出してください。

なお、この質問票は、評価の変更を目的として行うものではなく、今後の学習を進めるうえでどのような点に留意する必要があるのか、どのような点が理解できなかったのかを確認するために行うものです。この制度の主旨を理を理解のうえ提出してください。主旨に反する内容の場合は回答しません。提出方法等は、学生ポータルで通知します。

16 成績評価とGPAについて

(1) 成績評価

「秀」・「優」・「良」・「可」が合格で、「不可」・「未評価」は不合格。成績評価の基準は、次のとおりです。

【成績評価基準のガイドライン】

判定	成績	表示	成績評価基準	GP	成績評価内容
合格	秀	S	100～90点	4.0	特に優れた成績(履修者の5%以内)
	優	A	89～80点	3.0	優れた成績
	良	B	79～70点	2.0	妥当と認められる成績
	可	C	69～60点	1.0	合格と認められる成績
不合格	不可	D	59点以下	0	合格と認められる成績に達していない
	未評価	F	—	0	評価に値しない

※ 成績評価基準は、全体の得点を鑑みて、評価を調整することがあります。

(2) GPAについて

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適切な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、GPAを算出しています。

◇ GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とします。

他学科・他学部聴講科目などは含め、リメディアル教育科目、教職・学術情報課程及び認定科目は除きます。

◇ GPAの算出方法

【a. 学期ごとのGPAの算出方法】

学期ごとのGPA算出は、次の式によります。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1) GPA対象科目で不可(D)及び未評価(F)科目は、分母に含みません。

注2) 通年科目は後学期に含めGPAを算出します。

注3) 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出します。

注4) 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しません。

【b. 通算GPAの算出方法】

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づき、その算出は次の式によります。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数)の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1) 通算GPAは毎学期末に算出します。

注2) 再履修した場合は1科目としてカウントします(ダブルカウントしません)。

注3) 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値で算出します。

17 時間割を参照するうえでの留意事項

時間割はWeb上でPDFファイルを公開します。時間割変更等がある場合、随時修正しますが、即時ではありませんのでご注意ください。確認方法は学生ポータルで別途お知らせしますので、必ず確認してください。

(1) 科目の種類(区分欄に表示)

必・・・必修科目 選必・・・選択必修科目 空欄・・・選択科目

(2) クラス分け表示

- ◇ クラスを学籍番号で分ける科目は、クラス分け表に基づき自分の所属するクラスを確認してください。
- ◇ 大学の総合教育科目時間割に大文字のA・B・C・・・でクラス分け表示がある場合は、オープン科目です。各自の時間割に合わせて選択し、受講してください。(一部科目を除く)
- ◇ クラス分けのない科目は、クラス表示をしていません。

(3) 隔週表示

区分欄の前に「隔週」と表示した科目は、1週おきに単独または2科目交互に実施する科目です。実施については授業担当者の指示に従ってください。

(4) 集中授業科目

時間割に日程・時間・教室の記載がない科目は、集中科目の日程表を学生ポータルの時間割格納場所に掲出します。

(5) 担当者表示

担当者が複数の科目は、備考欄に全担当者の名前を列記していることがあります。

(6) 教室表示

- ◇ 教室欄に2室以上配当している科目は、いずれの教室で実施するかを、担当教員または学生教務課で確認してください。
- ◇ 実験・実習・演習室は略称表示をしています「実験・実習・演習室略号一覧(39ページ)」で確認してください。
- ◇ 教室の場所がわからない場合は、学生教務課窓口で確認してください。

(7) 開講時限・教室等の変更

時間割・教室等は、変更になることがあるので、必ず学生ポータルを確認してください。
また、次年度以降の時間割(開講学期・曜日・時限・担当者等)は変更になる可能性があります。

(8) 教職課程科目の時間割

- ◇ 科目名の後に、学科名の短縮表示のある科目は、学科指定の科目です。当該学科・学年の学生は必ず指定の時限で履修してください。
- ◇ クラス欄にアルファベット表示のある科目はオープン科目です。各自の時間割にあわせて選択し、受講してください。(一部科目を除く)

(9) 履修番号欄の「A****」は、次の場合に表示している

- ◇ 当該時限前の科目を引続き開講する場合
- ◇ 後学期において通年科目を表示する場合

18 WebClassの利用について

WebClassは、本学で導入しているPC・スマートフォンからアクセスできる学習管理システム(LMS)です。授業に関するお知らせ、教材の配信、テストの実施、レポート提出、出席管理等に利用します。学生ポータルと同じユーザーIDとパスワードを使用してログインできます。ログイン方法、資料の閲覧、出席管理については、以下に記載しています。その他の機能についてはマニュアルを参考にしてください。

※画面はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。

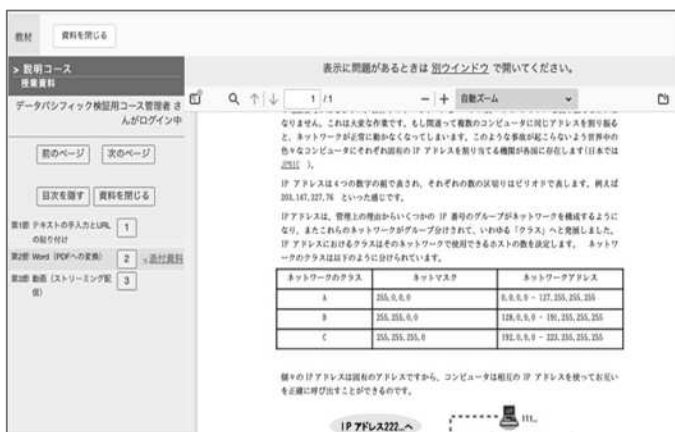
(1) ログイン画面



WebClassログインURL
<https://lms.nodai.ac.jp/>

ユーザ ID とパスワードを入力して、
[ログイン]ボタンをクリックします。

(2) 資料の閲覧



教員が授業で使用する資料を
WebClassで見ることができます。
教員が WebClass にアップロードした配
付物をダウンロードできます。

(3) 出席の送信



教員が指定したパスワードを入力し、講義の出席を WebClass から送信できます。

自分の出席状況も確認できます。

(4) マニュアル



授業によっては、その他の機能を使う可能性があります。

マニュアルは、必要に応じて確認してください。

19 遠隔授業の受講方法

(1) 遠隔授業とは

パソコンやタブレットを使い、インターネットを介すことで、講義を受ける形態のことです。学生ポータルを通じて配信される在宅学習用教材(オンデマンド型)の閲覧や、講義を録画した動画を閲覧することで学習し、指示された課題やレポート等を提出し受講します。なお、できるだけ授業日に受講してください。

(2) 受講方法・流れ

授業科目により実施方法が異なりますので、シラバス、講義連絡等による、指示に従ってください。本誌(34ページ〜)に遠隔授業で利用するアプリケーションの簡単なマニュアルが記載されています。インターネット上にも各アプリケーションの使い方マニュアルがアップロードされていますので、自分でも調べてみてください。また、対面授業で実施している講義も適宜遠隔授業を組み合わせ実施しています。授業担当者からの指示がありますので、注意するようにしてください。

授業前日まで

シラバス	学生ポータル「シラバス」から該当科目を検索し、授業内容、実施方法、予習内容等を確認してください。
------	--

授業30分前まで

講義連絡	学生ポータル「My時間割」から講義を選択すると確認できます。
------	--------------------------------

授業開始

実施方法	詳細
配信ツール	Zoomによる双方向リアルタイム通信 (授業時間はミーティングに参加)
教材	学生ポータル「在宅学習用教材フォルダ」またはWebClassからダウンロード
出席確認	WebClassまたは点呼

(3) 受講する際の推奨スペック

遠隔授業を受講するための環境の推奨スペックは下記の通りとなります。新規に購入する場合や買い替えの際は参考にしてください。すでにパソコンやタブレットを所有されている場合は新たに購入する必要はありません。なお、新たにパソコン等を購入される場合、Office365 ソフト(Word、Excel、PowerPoint、Access 等)は、大学がライセンス契約しているため、全学生が無料で使用できますので、同ソフトを購入する必要はありません。

端末	キャンパスへの持ち運びが可能なノート型パソコン等を推奨
OS	Windows10 64Bit (Pro推奨) ※ Mac の利用も可能ですが、大学としてサポート対応ができないことがあります。
CPU	Intel なら Corei3 以上、AMD なら Ryzen3 以上
メモリ	8GB以上
ディスプレイ解像度	1360×768以上
内臓記憶	250GB以上(SSD推奨)
必須機能	Wi-Fi、カメラ、マイク、スピーカー(外付けタイプの利用も可)

20 教材フォルダの使い方

本学では、授業に必要な教材を、学生ポータル「講義連絡」や「在宅学習用教材」(Microsoft OneDrive)から配信しています。

ここでは、「在宅学習用教材」のダウンロード方法について説明します。

【注意事項】

- ◇ 教材はMicrosoft officeを使用しています。必要な方は「新入生のための農大ネットワーク利用ガイド」を参照し、インストールしてください。
- ◇ 各自の農大メールアドレス(学籍番号@nodai.ac.jp)でアクセスしてください。
- ◇ 配信教材は音声付スライド(PowerPoint)、レジュメ(PDF)等複数の種類があります。
- ◇ パソコンまたはタブレットでの学習を推奨しています。(スマートフォン等でファイルをダウンロードして閲覧することは可能です。)
- ◇ 教材をオンライン上で閲覧するとうまく動作しない場合があります。必ず**ダウンロードして学習**してください。



「在宅学習用教材」から該当科目の学部を選択してください。

21 Formsの使い方

Formsは、ブラウザを利用したMicrosoftのアプリケーションで、各種アンケートや小テスト、試験等で使用します。アクセスに必要なURLは、主に学生ポータル「お知らせ」や「講義連絡」で周知します。

(1) Formsへのアクセス

The screenshot shows the '東京農業大学 TOKYO NODAI Information Portal'. Under the 'Lecture Contact Information' section, there is a table for 'Lecture Contact Object Time Schedule' and a 'Lecture Contact Details' section. The 'URL' field in the details section is highlighted with a red box, containing the following text: `https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=1F52FF9a3KkL4SR1x3S3a4rC5Vj_11C2xwV3L4t4b_UR4VDDK`.

講義連絡等に記載されている Forms の URL をクリックしてください。

※「詳細」欄に記載の場合は、URL をコピーしブラウザのアドレスバーに貼り付けます。

(2) サインイン

① サインインを求める画面が表示されたら、各自の農大メールアドレスを入力し、**[次へ]**を押してください。

② Web 認証画面が表示された場合は、パスワードを入力し **[ログインボタン]** を押してください。

(3) 解答方法

The screenshot shows a quiz titled '6月1日小テスト'. The question is '1. 東京農学校は設立は何年? (2点)'. The options are: 1891年, 1893年, and 1925年. There is a '送信' button at the bottom.

③ Forms にログインし、解答画面が表示されます。

④ 選択肢(複数選択有り)やテキスト入力、ドロップダウン等の様々な解答方式があります。

※解答時間が設定されている場合は 59 秒までが解答時間となりますので、気を付けてください。

【例】9 時までの場合、8 時 59 分 59 秒まで

2.2 教室 実験・実習・演習室短縮名称

教室の短縮表記は、学生ポータルで掲示する時間割や、webシラバスなどで使用する場合があります。次ページ以降の教室配当図も併せて確認し、限られた時間内で教室移動が出来るようにしましょう。

建屋	階数	名称	短縮名称
講義棟	1階	1101教室	1101
		1102教室	1102
		1103教室	1103
		1104教室	1104
	M2階	トリニティホール	トリニティホール
	2階	1200教室	1200
		1201教室	1201
		1202教室	1202
		1203教室	1203
		1204教室	1204
		1205教室	1205
	3階	1301教室	1301
		1302教室	1302
		1303教室	1303
		1304教室	1304
		1305教室	1305
		1306教室	1306
1307教室		1307	

建屋	階数	名称	短縮名称
第2講義棟	2階	2201コンピューター演習室	コンピ°演習室
		2202教室	2202
	3階	2301教室	2301
		2302教室	2302
		2303教室	2303
	実験実習棟	1階	農産加工実習室
乳加工実習室			-
肉加工実習室			-
2階		実験室3	実験室3
		実験室4	実験室4
		実験室5	実験室5
		実験室6	実験室6
3階		実験室1	実験室1
		実験室2	実験室2
研究棟		1階	実験室7

23 厚木キャンパス教室配置図 講義棟

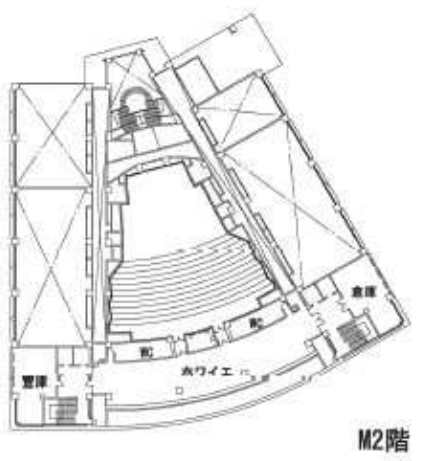
講義棟



3階



2階



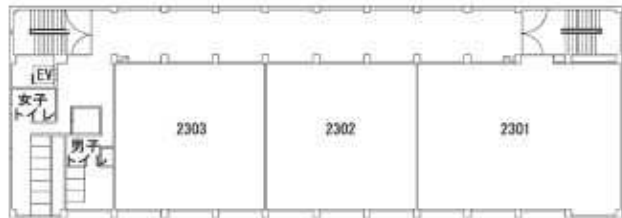
M2階



1階

24 厚木キャンパス教室配置図 第2講義棟・実験実習棟

第2講義棟



3階



2階

実験実習棟

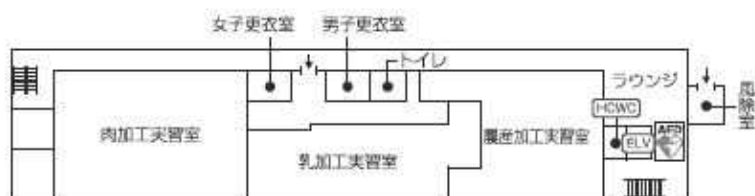
3階



2階



1階



25 科目ナンバリングについて

科目ナンバリングとは、授業科目に採番ルールに基づく番号を付し、学修内容の順次性や科目間の関連性を示すことで、教育課程(カリキュラム)の体系性を明確にするとともに、学生に目的意識及び計画性を持って学修させることを目的とします。

シラバスに科目ナンバリングを記載しています。

※科目ナンバリングの採番ルール等については学生ポータルのカabinetから確認できます。

26 履修モデル

就職・進学するために有益な科目として推奨する「履修モデル」を学科別に記載していますので、参考にしてください。

(注意) 履修モデルに記載されている科目のみで、卒業要件単位や資格取得に必要な単位を充足するわけではありません。当該学科の卒業要件単位(必修・選択必修・選択科目)、資格関係科目を全て修得しなければ、卒業や資格取得(受験資格を含む)することはできません。卒業及び資格取得に必要な単位の詳細は、「学生生活ハンドブック」を参照してください。

※2024年度の時間割表は学生ポータルから確認してください。

農学科 履修モデル

コース	農業関連産業・団体	農業(後継者・新規就農者)	食品・流通関係	学術情報関連	公務員(農学系)	教員(農業)	教員(理科)	大学院進学
開講区分	JA、農業を営む法人・会社などへの就職を目指す	農業の後継(自営)または新規就農を目指す	食品・流通関係の会社への就職を目指す	博物館や図書館などで働く学芸員、司書を目指す	国家公務員、地方公務員を目指す	農業高校の教員を目指す	中学、高校の理科の教員を目指す	大学院進学を目指す
総合教育科目	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 英語プレゼン(一)	英会話(一) 英会話(二)	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 英会話(一) 英会話(二) 英語プレゼン(一)		TOEIC英語(一) TOEIC英語(二)	科学英語(二)	科学英語(二)	TOEIC英語(一) TOEIC英語(二) 科学英語(二) 入試科目に英語が課せられることが多いので英語を特に学習する。
学部専門教育科目	スポーツ関係科目 就職準備科目 専門共通科目	インターンシップ 環境科学	インターンシップ	動植物園論 知的財産論		環境科学	環境科学	環境科学
学際領域科目	農業経営学 植物生理生態学 植物生長調節論	農業経営学	植物生長調節論	分子生物学 自然再生技術論	農業経営学 植物生理生態学	農業経営学	植物生理生態学 植物生長調節論 分子生物学	植物生理生態学 植物生長調節論
学科基礎科目	農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二) 科学と哲学	農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二) 科学と哲学	生命倫理 科学と哲学 経済入門 現代社会の諸問題	科学と哲学 文化人類学	農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二) 科学と哲学	生命倫理	生命倫理 科学と哲学	生命倫理 科学と哲学
自然関係科目	生物学 化学	生物学	数学 化学	生物学 地学	生物学 化学 数学	生物学	生物学 化学 物理学 地学	生物学 化学 数学
専門基礎科目	実験計画法 植物栄養学 雑草学 農産物マーケティング論 植物防疫論	農業気象学 植物栄養学 農産物マーケティング論 植物防疫論	農産物マーケティング論 植物防疫論		植物防疫論	実験計画法 農業気象学 植物栄養学 植物防疫論	農業気象学 植物栄養学 実験計画法	実験計画法 植物栄養学
専門コア科目	植物育種学 植物病原微生物学(一) 植物病原微生物学(二) 果樹園芸学 野菜園芸学 花井園芸学 ハイオナーサリー論 ポストハーベスト論	食用作物学(一) 食用作物学(二) 果樹栽培論 野菜栽培論 花井栽培論 園芸環境植物学 植物病理学 土壌学	食用作物学(一) 食用作物学(二) 工芸・飼料作物学 果樹園芸学 野菜園芸学 花井園芸学 ポストハーベスト論	植物病原微生物学(一) 植物病原微生物学(二)	公務員を目指す者は、指導教員とよく相談して幅広く専門科目を履修する。	上記科目は、農業高校の教員となる者に履修を勧める科目である。	上記科目は、中高の理科の教員となる者に履修を勧める科目である。	大学院進学を志望する者は、指導教員とよく相談して専門分野に關係する専門科目を履修する。

動物科学科 履修モデル 1年生用 (2019カリキュラム対応)

コース	就農者	食品関連企業	製薬関連企業	公務員・動物関連団体	教員関連	進学
開講区分	概要	動物や人の健康を守る人材の育成	農産物や飼料の製造及び品質管理等に携わる人材の育成	行政機関及び動物関連団体で働く人材の育成	農業に関連した学校教員を目指す人材の育成	動物に関連した生産や生命の科学的追及をする人材の育成
総合教育科目	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二) スポーツレクリエーション(一)・(二)	英語リーディング(一)・(二) 英会話(一)・(二) TOEIC英語(一)・(二) 英語プレゼンテーション(一)・(二) 科学英語(一)・(二)
スポーツ関係科目						
専門共通科目		環境科学	知的財産論	環境科学	動物園論	知的財産論
学部専門教育科目	農業経営学 農産物マーケティング論	農業経営学 生命科学 分子生物学	生命科学 分子生物学	自然再生技術論 生命科学 分子生物学	生命科学 分子生物学	生命科学 分子生物学
創生型科目	農業インターシップ(一)・(二)					
人間関係科目	生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命倫理	生命倫理
社会関係科目	経済入門	経済入門	経済入門	日本国憲法 現代社会の諸問題	生命倫理 科学と哲学 日本国憲法 現代社会の諸問題	科学と哲学 国際関係を考える
学科基礎科目	生物学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学	生物学 化学 数学 物理学 地学	生物学 化学 数学
専門基礎科目	牧場実習	動物微生物学	動物微生物学 実験動物学	牧場実習	実験動物学	実験動物学
学科専門科目	動物遺伝資源学 トリの生殖学 飼料学 動物管理学	動物遺伝資源学 動物栄養学 生殖生理学	動物遺伝資源学 栄養分子制御学 生殖生理学	動物遺伝資源学 トリの生殖学 生殖生理学 動物管理学	動物生理化学 動物遺伝資源学 動物管理学	専修希望分野別科目

生物資源開発学科 履修モデル

科目区分	農業生産・食品・バイオ関連産産業等	行政・環境コンサル・NPO法人等	教育普及・研究者等
総合教養科目	フレッシュマンセミナー 情報基礎(一) 情報基礎(二) 特別講義(一) 特別講義(二) キャリアデザイン インターナショナル・スタディーズ(一) インターナショナル・スタディーズ(二) 共通演習 情報基礎(二)	フレッシュマンセミナー 共通演習 情報基礎(一) 情報基礎(二) キャリアデザイン ビジネスマナー インターナショナル・スタディーズ(一) インターナショナル・スタディーズ(二)	フレッシュマンセミナー 情報基礎(一) 情報基礎(二) 特別講義(一) 特別講義(二) 共通演習 情報基礎(二)
	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四) 英語リーディング(一) 英語リーディング(二)	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四) 英会話(一) 英会話(二)	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四) 英語プレゼンテーション(一) 英語プレゼンテーション(二)
外国語科目	中国語(一) 中国語(二)		
	農学原論 農業実習(一) 基礎演習 農業実習(二) 数学 化学	農学原論 農業実習(二) 数学 物理学 環境科学 知的財産論 現代社会の問題	農学原論 農業実習(一) 基礎演習 科学と哲学 国際問題を考える 動植物園論
創生型		農業インターンシップ(一) 農業インターンシップ(二)	
	生物資源利用学(一) 生物資源利用学(二) 植物学 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 植物育種学 機器分析学	生物資源利用学(一) 生物資源利用学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 生物情報利用学 生物多様性と分類	生物資源利用学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 遺伝資源利用学 植物育種学 野生動物生態学 機器分析学 生命工学
専門基礎	生物資源利用学(一) 生物資源利用学(二) 植物学 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 植物育種学 機器分析学	生物資源利用学(一) 生物資源利用学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 生物情報利用学 生物多様性と分類	生物資源利用学(一) 生物資源利用学(二) 植物多様性学 野生動物学 昆虫学 薬用資源学 遺伝資源利用学 植物育種学 野生動物生態学 生物多様性と分類
	植物育種学 生命工学 植物学 農業経営学 生命科学 分子生物学 農産物マーケティング論	植物育種学 生命科学 自然環境保全論 自然再生技術論 農産物マーケティング論	植物育種学 自然環境保全論 植物生態学 里山学 分子生物学
学際領域	農業と生物多様性管理 植物生態学 分子生物学 農産物マーケティング論	農業と生物多様性管理 農産物マーケティング論 里山学 植物学	農業と生物多様性管理 進化生物学 植物生態学 分子生物学
	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別実験(三) 分野別実験(四)	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別実験(三) 卒業論文	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別実験(三) 卒業論文
総合化	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別実験(三) 分野別実験(四)	分野別実験(一) 分野別実験(二) 卒業論文	分野別実験(一) 分野別実験(二) 分野別実験(三) 分野別実験(四)

デザイン農学科 履修モデル

科目区分	食品製造業、機能性製品(医薬・化粧品等)製造業	高齢者福祉事業、障害者福祉事業、農芸関連事業、ペット関連事業	サイエンスコミュニケーション、企業広報渉外関係、マスコミ・出版関係
総合教育科目	フレッシュマンセミナー 共通演習 情報基礎(一) 情報基礎(二) スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二) キャリアデザイン 特別講義(一) 特別講義(二) 特別講義(三)	フレッシュマンセミナー 共通演習 情報基礎(一) 情報基礎(二) スポーツ・レクリエーション(一) スポーツ・レクリエーション(二) 特別講義(一)	フレッシュマンセミナー 共通演習 情報基礎(一) 情報基礎(二) インタラクティブ・デジタルデザイン(一) インタラクティブ・デジタルデザイン(二) キャリアデザイン 特別講義(一) 特別講義(二)
	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四) 英語プレゼンテーション(一) 英語プレゼンテーション(二)	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四) 英語プレゼンテーション(一) 英語プレゼンテーション(二)	英語(一) 英語(二) 英語(三) 英語(四) 英語プレゼンテーション(一) 科学英語(一) 科学英語(二)
外国語科目	初修外国語		中国語(一) 中国語(二)
	学科基礎・専門共通	農学原論 農業実習(一) 生物学 生命倫理 現代社会の諸問題 知的財産論 環境科学 基礎演習 化学	農学原論 農業実習(一) 生物学 生命倫理 科学と哲学 数学 現代社会の諸問題 知的財産論 環境科学 基礎演習
専門教育科目	創生型	農業インターシップ(一) 農業インターシップ(二)	
	専門基礎	デザイン農学概論 畜産物利用論 バイオテクノロジー サステイナビリティ農学 生活デザイン農学 デザイン農学専攻別実験実習・演習 実験計画法 食品化学 食品分析学	畜産物利用論 農産物利用論 生活デザイン農学 デザイン農学 基礎実験実習・演習 食品化学 デザイン農学概論 食品分析学
専門コア	生物介在療法 サイエンスコミュニケーション 栄養調理学 食品管理学 農業経営学 生命科学	生物介在療法 サイエンスコミュニケーション ESD概論 農福連携デザイン農学 動物管理学 農業経営学 自然衛生技術論	バイオミクリー論 ESD概論 農福連携デザイン農学 生物介在療法 生命科学 分子生物学
	学際領域	専攻基礎実験実習・演習(一) 専攻基礎実験実習・演習(二) 卒業論文	専攻基礎実験実習・演習(一) 専攻基礎実験実習・演習(二) 卒業論文
総合	専攻基礎実験実習・演習(一) 専攻基礎実験実習・演習(二) 卒業論文	専攻基礎実験実習・演習(一) 専攻基礎実験実習・演習(二) 卒業論文	専攻基礎実験実習・演習(一) 専攻基礎実験実習・演習(二) 卒業論文

【前学期 時間割記入表】

	月	火	水	木	金
1時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
2時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
3時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
4時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
5時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
6時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：

集中/通年	
履修番号	科目名

【後学期 時間割記入表】

	月	火	水	木	金
1時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
2時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
3時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
4時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
5時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：
6時限	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：	履修番号： 科目名：

集中	
履修番号	科目名

農学

東京農業大学

世田谷キャンパス / 大学院・応用生物科学部
生命科学部・地域環境科学部
国際食料情報学部
厚木キャンパス / 大学院・農学部
北海道オホーツクキャンパス / 大学院・生物産業学部